

経営比較分析表（令和4年度決算）

北海道 由仁町

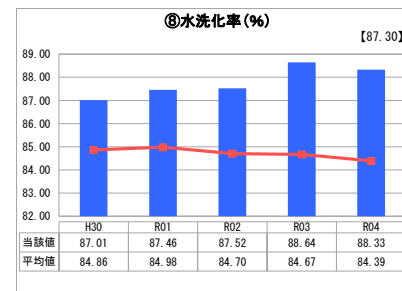
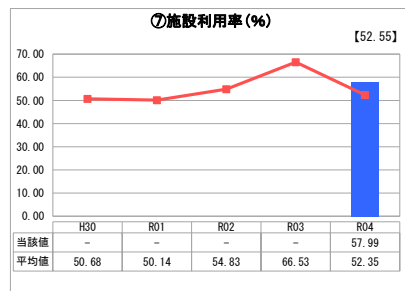
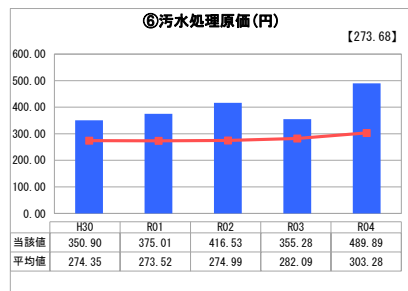
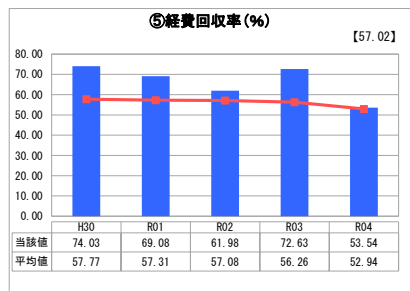
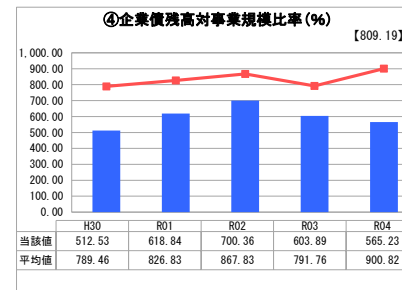
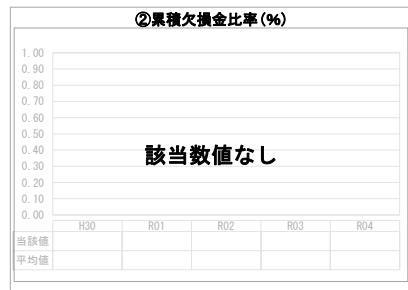
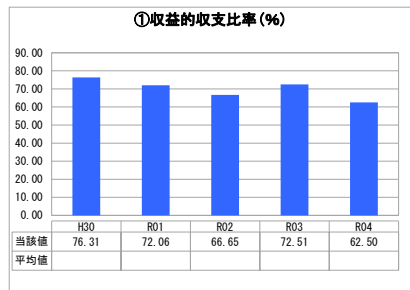
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	63.63	78.61	5,286

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,783	133.74	35.76
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,015	3.16	954.11

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成29年度に料金改定を行い、収益的収支比率については、前年度対比10.01%の減少で、以前一般会計からの繰入金に依存している状況にある。

企業債残高対事業規模比率については、平成30年度から上昇傾向にあったが、令和4年度については、前年度対比38.66%の減少となっており、今後も企業債残高が減少していく見込みとなっている。

経費回収率については、全国平均値よりも低い状況にあり、経費のすべてを料金収入で賄っていないことから、引き続き使用料の見直しを検討しながら、経費の削減を行っていく必要がある。

施設利用率については全国平均値よりも高い状況にあるが、さらなる施設利用率向上に向けた取り組みを検討していく。

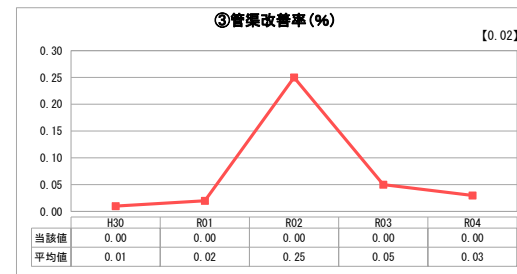
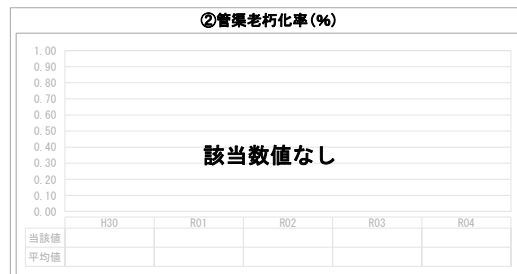
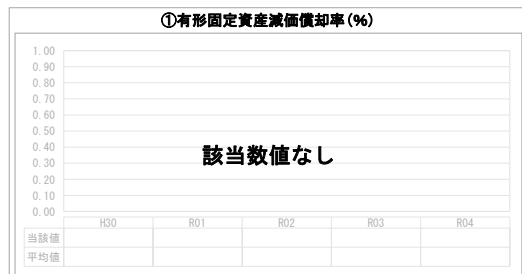
水洗化率についても全国平均値よりも高い状況となっているが、今後の人口減少の影響を踏まえ、更なる水洗化率の向上に向けた取組みを検討する必要がある。

2. 老朽化の状況について

施設等については、平成7年に供用開始をしており、平成29年度から令和2年度にかけて機械・電気設備等の更新を行っているが、今後も中長期的に施設の改修や設備等の更新について、検討していく必要がある。

また、管渠更新については耐用年数の関係から現在更新を検討する段階ではないが、更新時には多額の経費が発生することから、必要な財源を確保することが今後の課題となっている。

2. 老朽化の状況



全体総括

一般会計からの繰入金に依存する割合が大きく、収益的収支比率や経費回収率に与える影響が大きいため、収入（使用料）の増加に向けた水洗化率向上への取組みや使用料の改定を検討していくとともに、経費の削減など、安定した経営を目指す努力が必要である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。